

令和7年度 病害虫情報 第11号

<ハスモンヨトウ>

**トラップへの誘殺数が平年より多くなっています。
平年より遅い時期までの飛来が予測されます。**

対象：県中部・西部・東部地域 露地野菜および施設野菜

平年より遅い時期まで、被害や施設への侵入が心配されます。

◎露地野菜：早期発見・早期防除に努めましょう。

◎施設野菜：開口部の侵入防止を行い、
侵入を確認したら早期防除に努めましょう。

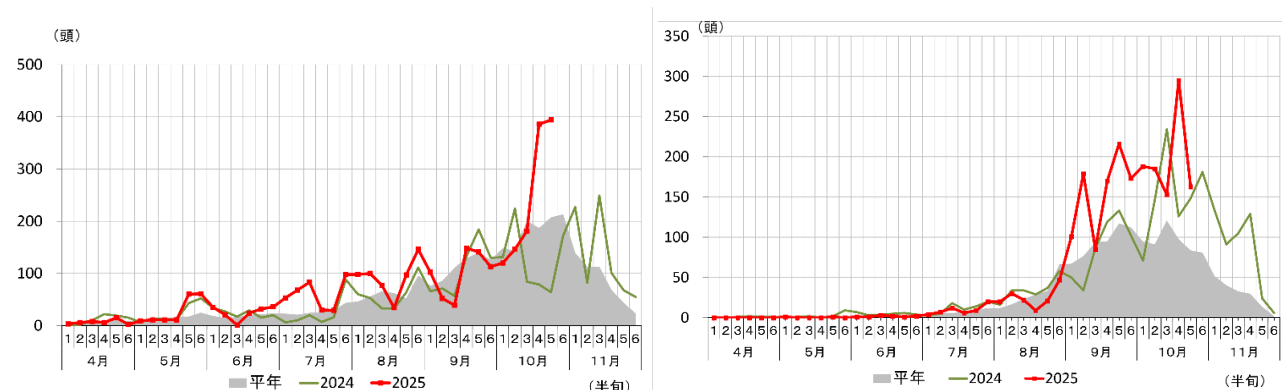


図1 フェロモントラップへの誘殺数の推移（左：伊勢崎市、右：富岡市）

1 性フェロモンを利用したトラップへの誘殺状況

- ・ハスモンヨトウの雌性フェロモンを利用したフェロモントラップ（以下「フェロモントラップ」）への誘殺数は、伊勢崎市では10月4半旬以降、富岡市では9月1半旬以降、平年より多く推移しています（図1）。
- ・なお、10月5半旬時点で、フェロモントラップへの誘殺数は伊勢崎市、富岡市ともに平年の1.9倍となっています。

2 今後の気象予報と発生予測

- ・関東甲信越1か月予報（10月30日発表）によると、今後も気温が高く、特に後半に高くなると予報されています。
- ・このため今後もハスモンヨトウの飛来が多く、平年より遅い時期まで飛来する可能性があります。

3 被害が予想される作物

- ・露地ではネギ、ハクサイ、キャベツなどの葉茎菜類で、施設ではイチゴ、キュウリなどで被害が心配されます。

4 防除対策

- ・老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するため、ほ場をよく見回り、若齢幼虫の発見に努め、早期防除を徹底しましょう。
- ・施設栽培では、開口部に防虫ネット（目合い 2.0～4.0 mm）等を張り、成虫の侵入を防いでください^{（注）}。

（注）ハスモンヨトウは防虫ネットに産卵し、ふ化した幼虫が施設内に侵入することがあります。
このため、卵塊やふ化幼虫を見かけたら除去しましょう。
すでに施設内に侵入している事例もあるので、早期発見に努めてください。



写真1 卵塊（サトイモ・赤丸部分） 写真2 集団で加害する幼虫（サトイモ）

※ フェロモントラップ調査の最新情報は

群馬県農業技術センターのホームページに掲載しています。

<https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>



病害虫発生予察情報

★農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている使用方法、注意事項等を確認して適正に使用してください。

お問い合わせ先：群馬県農業技術センター土壌・病害虫部 発生予察係 TEL:(0270)62-1059